

ストラタステクノロジー社

## 激しい競争を勝ち抜くためには、 堅固なビジネス基盤を再構築して “攻め”ビジネスを展開していく

無停止型コンピュータ・システムの設計と製造・販売に注力し、連続稼働と可用性を追求するあらゆるビジネスに提供してきたストラタステクノロジー社。2004年3月、同社の主力製品であるフォールト・トレラント（無停止型）サーバ「Stratus<sup>®</sup> ftServer<sup>®</sup>」に、Linux<sup>®</sup> OSを採用した「ftServer Tシリーズ」が加わり、テレコム市場での評判が急速に高まっている。ここでは、2005年1月に来日されたストラタステクノロジー社 本社取締役・テレコム部長であるAli Kafel氏に、同社のテレコム市場に向けた取組みと今後のビジョン等について伺った。

2004年3月に発表された通信事業者業界向けの無停止型サーバ「ftServer Tシリーズ」が好評ですが、その要因はなんでしょうか。

**Ali Kafel氏（以下、AK）** 通信事業者業界の厳しい高可用性要求に対応した「Stratus ftServer Tシリーズ」（以下、Tシリーズ）は、Linux<sup>®</sup> OSをサポートするIntel<sup>®</sup> Xeon<sup>™</sup> プロセッサベースでNEBS Level3に準拠したオープン無停止型サーバです。Linux OSとインテルプロセッサを、99.999%超のアップタイムの実績を持つ当社の無停止型サーバ・アーキテクチャに組み合わせることで、高レベルの可用性と通信事業者に最適なプラットフォームを実現しました。また、耐障害性をハードウェアベースで実現しているの

で、アプリケーションの可用性を確保したり、あるいはシステムを通信事業者環境に統合するために、フェイルオーバー・スクリプトを作成したり、テストを繰り返したり、アプリケーションを修正するなどの特別な処理の必要がありません。

**Tシリーズの発売と同時に、同製品上でサポートされる通信事業者向け信号線制御ミドルウェア「SINAP/IP」も発表されましたが。**

**AK** SINAP/IPは、SS7共通信号線方式サービスを従来の回線交換型TDMネットワークから次世代IPベース・パケットネットワークに透過的に移行させることを可能にした、旧来のネットワークとの橋渡しとなるミドルウェアです。動的な可用性



Stratus Technologies, Inc.  
Vice President  
Telecommunications  
Ali Kafel氏

と拡張性を実現する分散型アーキテクチャを備えているので、キャリアグレードに必要なSS7オーバーIP機能を提供することができます。このSINAP/IPの発表も好評を得ている要因だと捉えています。

**ストラタステクノロジー社の製品は、通信事業者業界で最も多く採用されているとお聞きしましたが。**

**AK** 現在、当社の売上全体の30%を占めています。今後、2~3年以内には、50%超になっているのではないのでしょうか。

**現在、通信事業者業界は大きな転換期を迎えています。その中で勝ち抜くためには何が必要でしょうか。**

AK 通信事業者は、これまでのインフラ産業からサービス産業へと、大きな転換期を迎えています。今、通信事業者が激しい競争に勝ち抜くために必要なことは、新しいサービスを迅速に開発・提供することで差別化を図ること。そして、インフラと利益の相関関係を見直して、利益を最大化するための基盤を再構築することだと思います。

当社は、万全の守りによって“攻め”のビジネスを実現していく「Offensive Computing」というコンセプトを掲げています。24時間365日連続稼働というテーマを追求したftServerは、“守り”のイメージで捉えられがちですが、そうではありません。いかなる場合でも最大の利益を得られる堅固なビジネス基盤を構築することで、運用・保守の負担からお客様を解放して、コアビジネスへの集中を実現します。その結果、ftServerは、通信事業者、医療機関、金融・証券会社といった“止まらない”連続可用性とリアルタイム性が不可欠な業種業界で広く

採用されています。

**日本のテレコム市場に対しては、どのような印象をお持ちでしょうか。**

AK FOMAをはじめとした3G（第3世代携帯電話）サービスは世界の先頭を走っています。また、品質の高い通信ネットワークをベースとしたブロードバンドサービスが急速に拡大しています。このように、生活環境とビジネス環境の双方でブロードバンド時代を迎えている日本のテレコム市場は、当社にとっても大きなターゲットであり、市場に参入する機会も多いと考えています。それは、ブロードバンド化が進む反面、わずかに数秒のシステムダウンが深刻な問題を引き起こしてしまうという危険性も高まっているからです。特にサーバの停止は、サービスの提供とともに、人々の生活や企業活動そのものを停止させてしまいます。この課題に対して、24時間365日連続稼働を実現する当社のftServerと各

種ソリューション＆サービスが対応していきます。

**今回の来日も、今後の日本市場での展開を踏まえたものですね。**

AK 今回の来日は、Tシリーズの販売進捗状況の確認と、日本のテレコム市場の調査、そして本年度中に販売を予定しているTシリーズの次期モデルの紹介が目的です。次期モデルでは、4wayの対称型マルチプロセッサをサポートする予定です。

**最後に、今後のビジョンについて、お話しいただけますか。**

AK 当社のビジネスモデルは、ftServerをはじめとしたハードウェアの提供と、ハードウェアを含めたソリューションの提供があります。後者では、現在、IPやWi-Fi、WiMax（IEEE802.16a / 固定無線通信規格）3Gなどの統合化が進むネットワークをサポートするソリューションを提供していくことです。そして将来的には、どのデバイスからでも最新の情報（コンテンツ）を入手できる、ユビキタス社会の基盤となる製品やソリューションを提供していきます。



Stratus® ftServer® T30

日本ストラタステクノロジー株式会社  
〒102-0085  
東京都千代田区六番町勝永六番町ビル  
TEL : 03-3234-5301  
FAX : 03-3234-6733  
URL : <http://www.stratus.co.jp/>